

## Uni Bio Press セミナー

# 「生物系ジャーナルの挑戦—より明確に、より広く、その情報を伝えるために」

主 催   Uni Bio Press

共 催   国立情報学研究所・公私立大学図書館コンソーシアム・京都大学附属図書館（西日本会場）

後 援   国立大学図書館協会・日本哺乳類学会・日本哺乳動物卵子学会・日本動物学会・日本古生物学会

日本鳥学会・日本爬虫両棲類学会・CSAジャパン

UniBio Pressは日本の生物系学協会が刊行する学術論文誌を電子ジャーナルとして集成的に国内外の研究機関に提供するための刊行主体であり、また同時に電子ジャーナルパッケージそのものの名称でもあります。日本の学術雑誌においては、電子ジャーナルパッケージ販売は、商業出版社による巨大パッケージの中の1タイトルとしての形式が一般的であります。UniBio Pressは、最大20タイトルの生物系ジャーナルパッケージを目指し、そして個々のジャーナルの存在が、日本発の生物系ジャーナルとして、生物学分野の研究者により明確にその情報が届くことを活動目標のひとつとしています。

2007年1月2日より、米国SPARCの支援のもとに立ち上げられたBioOneとの連携がなり、UniBio PressはBioOne.2に参画し、海外図書館購読に向けて、あらたな活動を開始しました。生物系学会ジャーナル出版に携わられる皆様、UniBioへの参画をお待ちしています。

本日は、BioOne-UniBio Press連携協調を記念したセミナーですが、SPARC JAPANを推進する、国立情報学研究所教授、学術基盤推進部長である安達淳先生からのご講演と、ゲストスピーカーとして、トムソンサイエンティフィック・シニアインフォメーションアナリストである宮入暢子氏より、UniBio Press参画ジャーナルを中心にして、生物系ジャーナルのパフォーマンスに関して、興味深い解析を行って頂きます。

UniBio Press CEO  
永井 裕子

### 日 時 場 所

○東日本会場  
平成19年5月15日(火) 13:10-16:50 (12:40受付開始)  
国立情報学研究所 12階会議室  
東京都千代田区一ツ橋2-1-2 学術総合センター  
○西日本会場  
平成19年5月17日(木) 13:10-16:50 (12:40受付開始)  
京都大学附属図書館 A Vホール  
京都市左京区吉田本町

### プログラム

12:40  受付開始  
13:10-13:15  開会挨拶  
 ○東日本会場  
  日本古生物学会 会長  
 北里 洋  
 ○西日本会場  
  日本動物学会 会長  
 佐藤 矩行  
13:15-14:00  SPARC/JAPANの歩みと展望  
  国立情報学研究所  
 教授・学術基盤推進部長  
 安達 淳  
14:00-15:00  BioOneの活動について (逐次通訳)  
  BioOne  
  Executive Director and Chief Operating Officer  
 Susan Skomal  
15:10-15:30  UniBioPress-日本のジャーナルを世界へ  
  Uni Bio Press CEO  
  日本動物学会 事務局長  
 永井 裕子  
15:30-16:30  引用データから見た生物系  
電子ジャーナル-UniBioPressを例に  
  トムソンサイエンティフィック  
  アジアパシフィック  
  シニアインフォメーション アナリスト  
  宮入 暢子  
16:30-16:50  質疑応答、意見交換  
16:50  閉会



BioOne

21 Dupont Circle, Suite 80  
Washington, D.C., 20036, USA  
Ph: 202-296-2296 FAX: 202-872-0884



NPO法人 UniBio Press

〒113-0033 東京都文京区本郷2-27-2  
東真ビル3階  
Tel: 03-6809-7636

## Profile

## 安達 淳 (あだち・じゅん)

国立情報学研究所  
教授・学術基盤推進部長

1981年東京大学大学院工学系研究科博士課程修了。工学博士。東京大学大型計算機センター助手、文部省学術情報センター研究開発部助教授、教授等を経て現在国立情報学研究所教授。2007年4月より学術基盤推進部長を併任。また、東京大学大学院情報理工学研究所教授を併任。データベースシステム、データマイニング、情報検索、電子図書館システム等の研究開発に従事。電子情報通信学会、情報処理学会、IEEE、ACM 各会員。

## 宮入 暢子 (みやいり・のぶこ)

トムソンサイエンティフィック・アジア・パシフィック  
シニアインフォメーションアナリスト

学術文献情報データベースを用いた計量書誌学的分析、特に引用データ分析に関するコンサルテーション等に従事。10年以上にわたる大学図書館での経験、情報科学や学術コミュニケーション、計量書誌学的分析における専門知識を活かし、日本をベースにアジア全域で活動。ハワイ大学にて図書館情報学修士号取得。2003年トムソンサイエンティフィック社入社。

## Susan Skomal

Executive Director and Chief Operating Officer, BioOne

Susan Skomal, Ph.D., is Executive Director and COO of BioOne, an innovative collaboration of scientific societies, libraries, academe and the private sector to provide cost-effective access to biological, ecological and environmental science research. Prior to BioOne, Skomal served for six years as Director of Publications for the American Anthropological Association. During that time, she helped guide the publications program towards the electronic future, which included development of AnthroSource. Trained as an anthropologist with specialties in archaeology and linguistics, Skomal has a healthy respect for the evolutionary power of natural selection-particularly helpful as scholarly publishing undergoes its own transformation in the electronic environment.

## 講演タイトル

「引用データから見た生物系電子ジャーナル  
☒ — UniBioPressを例に」

発表者 宮入暢子

## 要旨

引用索引データベース Web of Science® に収録された論文・引用データをもとに、特にUniBioPressジャーナルを例として、ダイナミックに展開する生物系ジャーナルの動向を探ります。

## &lt; お申し込み方法 &gt;

- FAXまたはEメールにて、下記宛お申し込みください。会場の都合上、先着70名をもって打ち切らせていただきます。(お申し込み後、参加いただける場合は特にご連絡いたしません。)

**FAX : 03-3814-6216** (下記の参加申込書をFAXください)

**E-mail : ubp@unibiopress.org** (「UniBioセミナー参加申込」と題し、下記の情報をメールください。)

## UniBioPress セミナー 参加申込書

参加会場	希望される会場の□内をチェック下さい。	
	<input type="checkbox"/> 東日本会場 (5月15日)	<input type="checkbox"/> 西日本会場 (5月17日)
氏名		
所属		
連絡先		

お知らせいただいた個人情報は、本セミナーに関する事項以外には使用いたしませんのでご了承下さい。